

# 新町の史跡探訪



# 世界遺産登録を目指して 新町屑糸紡績所



錦絵 上州新町駅紡績所 黒澤康弘氏所蔵

明治10年10月に開設した、日本人の手による日本で最初の洋式木造工場である。

官営でスタートし、その後民間に譲渡され、明治44年から鐘淵紡績が昭和50年まで紡績を続け、新町地域の経済に大いに貢献した。現在ではクラシエフーズのアイスクリーム工場として稼動しており、工場の敷地内に当時の木造工場と「赤レンガ倉庫」「明治天皇行幸記念碑」などがあり、正門前の鐘紡公園には、初代工場長の「佐々木長淳顕彰碑」や「絹糸紡績発祥の地碑」がある。



現存する当時の工場内部



明治天皇行幸記念碑

## 新町4つの発祥の地碑

新町には「〇〇発祥の地」と書かれた碑が4つも存在していることを、ご存知ですか。

4つの碑は、いずれも静かに、でも誇らしく、ここが誕生の地であることを伝え、他ではあまり見られない初めてのことを創り上げる「町民の創造の精神」を垣間見ることができます。



絹糸紡績発祥の地  
(鐘紡公園内)



日本スリーデーマーチ発祥の地  
(弁天橋)



なぎなた競技発祥の地  
(しのめ信金前)



群馬県ボーイスカウト運動発祥の地  
(於菊稲荷神社内)

# 新町地域内の高崎市指定文化財を訪る



全景

## 神流川合戦首塚八幡宮(市指定史跡) (かなながわがっせんくびづかはちまんぐう)

1582(天正10)年、神流川合戦で討死した武士の首を実検したので小字名となったという。首を一ヶ所に埋葬して一墳となしたところから、後世の人は首塚と称し、無縁の霊を祀り石祠を設けた。現在10区老人会の方々が新たに石祠を建てて霊を慰め、毎年4月に春季例祭が行われている。また、すぐ近くには胴塚稲荷神社(藤岡市岡之郷)もある。



建物全景

## 明治天皇新町行在所(市指定史跡) (めいじてんのうしんまちあんざいしよ)

1878(明治11)年、明治天皇が北陸・東海道各地を巡幸のおり、官営新町屑糸紡績所に行幸され、9月2日に新町に宿泊することになり、天皇御宿泊のために新設された。



神殿



小林碑

## 諏訪神社(五区) (すわじんじゃ)

諏訪神社は古く笛木村時代からの鎮守として本屋敷(駅周辺)に祀られていたが、1708(宝永5)年現在地に移された。境内には、1702(元禄15)年の銘がある新町では最も古い石鳥居『明神鳥居』(市指定重要文化財)がある。他に『小林稷州先生寿蔵の碑』(市指定重要文化財)、『諏訪神社の獅子舞』(市指定重要無形文化財)、『諏訪神社の神輿』(市指定重要有形民俗文化財)等が保存されている。



明神鳥居



水屋



遊女参詣

## 於菊稲荷神社 (おきくいなりんじゃ)

宝暦年間(1751~64)、落合新宿大黒屋の遊女お菊のうえに奇跡的な霊験が顕れて以来、於菊稲荷の通称で遠近から多くの信者を集め、新町の名所となった。境内には、寛政の大詩人・大窪詩仏の書による「冰香」が刻まれた『水屋』(市指定重要文化財)があり、社殿には遊女が奉納した絵馬二面『武者絵』『遊女参詣』(市指定重要有形民俗文化財)が掲げられている。ともに新町の絵師によって描かれている。



武者絵



全景

### 八幡神社(はちまんじんじや)

落合宿の守護神として応神天皇を御神体としている。

本殿は鎌倉時代の建築様式で、柱の彫刻など精巧なもので当時の名工・若狭守の工作与伝えられている。拝殿は仮屋のため改築が計られたが、費用不足のため現在になっているが、本殿は修築され宿場時代の面影が残っている。また、拝殿には1863(文久3)年に宿場の遊女たちによって献じられた大絵馬三面・『勿来関』『花草図』『紅葉狩』が掲げられ、『神輿』とともに重要有形民俗文化財に指定されている。また、『天神の獅子舞』も重要無形民俗文化財に指定されている。



鳥居から社殿

### 七区諏訪神社(ななくすわじんじや)

七区諏訪神社は1754(宝暦4)年に造営されたもので、建築精巧で特に「海老虹梁」にぶどうとりすの彫刻があり、桃山時代の遺構として貴重なものである。鳥居は花崗岩の神明造りである。境内には、「東音頭(市指定重要無形民俗文化財)の解説板」や「川岸町沿革碑」「正徳の道標」がある。



繫杭

### 三十三番繫杭(さんじゅうさんばんけいぐい)

五区諏訪神社の東の道は川岸町に通じており、100m程北へ進と樫の大木のある小高い所に山の神があり、その大木に抱えられるように三十三番繫杭の石柱がある。1874(明治7)年、角刈・毘沙沙・笛木・落合の境界を決定した際の測量の一基点を表したものである。同様の石柱として三十七番繫杭もあり、いずれも高崎市重要文化財に指定されている。



銀杏

### 浄泉寺の大銀杏(じょうせんじのおおいちょう)

浄泉寺境内にあり、江戸時代前期に植えられたものと思われ、高さ約25メートル、周囲約5.2メートル、樹齢約400年と推定されている。昭和55年に高崎市天然記念物に指定された。



### 宝勝寺(ほうしょうじ)

宝暦11年に大黒屋高橋治左衛門が寄進した鐘楼門で、境内には小判供養塔もある。



### 妙見寺(みょうけんじ)

三区に存在する日蓮宗の寺である。



### 八坂神社・柳茶屋の芭蕉句碑(やさかじんじや)

芭蕉句碑は、昔は中山道の南側に建っていたが、現在は八坂神社前にある。茶店の側に柳の大木があり、柳茶屋の句碑と呼ばれていた。



### 虚空蔵尊(こくそうそん)

二区温井川沿岸に祀られた祭神で神仏混淆になっている。境内には、由来を記した碑もある。



### 専福寺(せんぶくじ)

五区に存在する真言宗の寺である。



### 龍光禅寺(りゅうこうぜんじ)

七区に存在する曹洞宗の寺である。境内に一宇あり、石造の薬師仏(ゆるぎ薬師尊)が安置されている。



### 胴塚稻荷神社(藤岡市岡之郷)(どうづかいなりじんじや)

胴塚稻荷古墳で、墳丘上に「胴塚稻荷」が祀られている。胴塚とは、1582(天正10)年にあった神流川合戦で敗戦した厩橋城主滝川一益軍の戦死者の胴を集めて埋葬したものと伝えられている。